

児童生徒が単元を見通して課題を追究し解決する授業づくり

授業づくりのポイント

※数字は学習の例と対応

- ① 児童生徒が社会的事象等から問いを見だし、見通しをもって課題解決に向かうことができるよう、単元や授業を構想する。
- ② 社会的な見方・考え方を働かせて課題を追究することができるよう、資料提示と発問を工夫する。
- ③ 1人1台端末を用いて、資料を読み取ったり情報を収集したりする活動や、課題解決のために、互いの考えを共有して話し合う活動の充実を図る。
- ④ 調べた事実や既習の知識を基に、互いの意見を比べたりつなげたりしながら、社会的事象の特色や相互の関連を自分の言葉でまとめ、表現する活動の充実を図る。
- ⑤ 単元の学習活動や分野の目標に応じた適切な評価規準を設定するとともに、評価方法を工夫し、評価した結果を児童生徒の学習改善や教師の指導改善に生かす。

資質・能力の育成に向け、事実から概念を形成する課題解決的な学習の例

中学校第1学年 単元名「世界各地の人々の生活と環境」

◇単元の目標（一部）

人々の生活は、その生活が営まれる場所の気温や降水量、標高などの自然条件の影響を受けることを理解する。〔知識及び技能〕

◇単元構成の例（全8時間）

課題設定	〔第1時〕 ○単元を貫く問いを設定する。 なぜ世界各地では人々の生活に様々な特色が見られるのだろうか。
課題追究	〔第2～7時〕 ○世界各地の人々の生活と環境について調べ、まとめる。 ・暑い地域 ・寒い地域 ・乾燥した地域 ・温暖な地域 ・山岳地域 ○宗教が生活に与える影響を調べ、まとめる。
課題解決	〔第8時〕 ○これまで学習した内容を基に、単元のまとめを書く。 まとめの例 気候や地形等の自然環境、人々が信仰する宗教等が異なるために、世界各地では衣服、食事、住居に様々な特色が見られる。 一方で、世界各地では以前に比べて生活が便利になり、伝統的な暮らしが変化してきている。

単元の目標や本時のねらいを達成した生徒の具体的な姿を基に、どのような学習活動をどの順番で配置すると効果的かなど、学習者目線から指導計画を作成することが大切です。①

◇学習活動（6／8）

1 アンデスの景観写真、気温及び降水量等の資料を読み取り、学習課題を設定する。

高地に暮らす人々は、どのような生活をしているのだろうか。

2 解決の見通しをもつ。

T：これまでの学習を振り返って、どのようなことを調べると、その場所の暮らしの特色が明らかになりましたか。

S1：そこに見られる植物や家畜、食事です。

S2：衣服や住居についても併せて調べると、特色が分かりやすかったです。

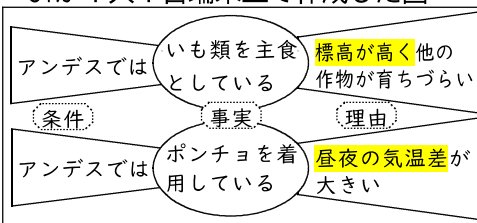
T：では、これらに着目し、高地の暮らしの特色と、その特色が見られる理由を調べましょう。



学習の見通しをもつために、これまでの学習経験や既習の内容を基に、課題解決の方法を生徒が考えたり決めたりできるようにします。①

3 各自が調べた内容を図にまとめ、グループ内で共有する。

<S1が1人1台端末上で作成した図>



T：暮らしの特色を生み出すキーワードを着色しましょう。



必要に応じて図や表を用意し、調べた事実から事象間のつながりや因果関係を視覚的に捉えられるようにします。③④

4 事象間の因果関係を全体で共有し、課題解決に向かう。

S1：昼夜の気温差が大きいので、脱ぎ着しやすいポンチョを着ています。

S3：日差しが強く乾燥しているため、日干しレンガを使った家が見られます。

T：なぜ、この場所ではこのような暮らしの特色が見られるのでしょうか。

S2：標高や昼夜の気温差等の、厳しい自然環境に対応するためです。

生徒が表現したことに対して、発問を通して意図的に意味付けや抽象化を行うことにより、汎用性のある概念等に関する知識を獲得できるようにします。②④

5 本時のまとめをする。

◇評価規準

高地に暮らす人々は、気温や降水量、標高などの厳しい自然条件に合わせて生活していることを理解している。

【知識・技能】（学習シート）